

## 第 17 回 総 会 議 事 録

2023年6月3日（土）午後13時30分、弘前市大字白銀町1番地6 弘前市民会館において第16回総会を開催した。

社員の総数	40名	この議決権の数	40個
出席社員数	40名	この議決権の数	40個
（うち議決権行使書提出者 6名）			
出席した監事	加藤拓彦 藤原健一		

出席社員全員の同意により社員 原長也氏が議長に選ばれ、議長は議長席に着き、上記の通り適法に成立したので、直ちに議事に入った。

### 第1号議案 2022年度事業報告

執行部は、2022年度事業報告を提出するとともに、これらについて概要の説明を行い、審議を求めた。

議長は以上のことを議場に諮ったところ、満場一致をもってこれを承認した。

### 第2号議案 2022年度決算報告・監事意見書

執行部は、2022年度における収支決算書、貸借対照表、財産目録を提出するとともに、これらについて概要の説明を行った。監事から、これらはいずれも適正と認めた旨の監査報告があった。

議長は以上のことを議場に諮ったところ、満場一致をもってこれを承認した。

### 第3号議案 2023年度事業計画及び当初予算案

執行部は、2023年度事業計画及び当初予算案を提出するとともに、これらについて概要の説明を行い、審議を求めた。

社員 三浦裕幸氏は、臨床力の向上について、会員へのアンケートなどで、会員の興味などを調査した上で研修内容を決定しているのか、また、新人以外の中堅の教育の在り方をどうしていくのかと質問した。会長 三橋武信氏は、全会員へのアンケートは実施していないが、個々やブロックにおいて会員の希望を聞いている、また、中堅への教育は計画に組み込んでおり、今後も検討したいと回答した。教育部担当理事 小枝氏は、希望する研修内容についてのアンケートは、研修会毎には実施していないが、前年度は参加者が多い研修会で実施しており、対面での開催を希望する会員も多いため、演習などは対面で実施していきたい、また、後進育成について、講師の育成を目的として、現職者研修修了者は、現職者共通研修と現職者選択研修の2回目以降の受講を無料としていると発言した。

社員 三浦裕幸氏は、研修会の開催方法について、対面での希望もあり実技での実施があってもよいと考えるが、今後どのように計画しているのかと質問した。会長 三橋武信氏は、対面で実施した方が良い内容は対面で実施するように検討しており、年度の途中であつて

も開催方法は変更すると回答した。

社員 三浦裕幸氏は、組織率について、青森県が全国と比較して差があるのか、またその理由は何なのかと質問した。会長 三橋武信氏は、本会の組織率は不明だが、県内の養成校卒業生数と入会数を見ると、年々減少しているようであり、OT協会もそれは同様であると回答した。議長 原長也氏は、最近の会員の退会理由は何なのかと質問した。副会長・事務局長 平川氏は、多くは異動であり、感染症による行動の制限や財政的な理由もあると発言した。

社員 三浦裕幸氏は、会員の希望と事業が解離しては困るため、会員の声を吸い上げることは大切であり、組織率を改善するため、また、会員の退会を減らすためにも、地域推進も大切だが、臨床力向上に寄与する研修会が必要ではないかと発言した。

社員 三浦裕幸氏は、会費について、北海道士会では会費が1万円であり、研修会や学会などが充実していたが、本会では今後どの程度の会費を考えているのかと質問した。会長 三橋武信氏は、近年、単年度で約100万円の赤字予算であり、それに加え、事務所の設置に約100万円、事務員の雇用に約100万円が必要であると考えており、会員数を1000人とすると、3000円程度の値上げが必要であると考えていると回答した。

社員 千葉さおり氏は、当初予算で入会者数を50名と予測しているが、どのようにして算出しているのかと質問した。副会長・事務局長 平川氏は、入会者数は年度によって異なっているため、過去数年の入会者数の平均値に基づいて決定していると回答した。

社員 千葉さおり氏は、組織率について、OT協会から組織率についてのアンケートへの回答の依頼があったが、本会でも「どういう組織であれば会員になりたいか」など、組織率向上に向けたアンケートを実施する予定はあるか質問した。会長 三橋武信氏は、組織率向上に向けたアンケートは、今のところ予定していないが、今後検討したいと回答した。

副会長・事務局長 平川氏は、アンケートは会員の声を広く聴くことに簡単に活用できるが、一方で、本会としての方針がないと誤解されることも考えられるため、十分に吟味しながらうまく活用していきたいと発言した。

社員 千葉さおり氏は、今年度、対面での学会が開催され、会員の良い反応が多かったと思うが、ここ数年のように、対面でのつながりがなくとも組織率を低下させる要因になるのではないかと、対面でのつながりが増えれば会員数の増加にもつながるのではないかと発言した。

社員 柴崎元氏は、会員から会費を値上げしてほしいという意見があり、その理由は、生活が困ること、値上げのメリットを感じないことであり、また、県士会とのやりとりが、一方向に感じている会員が多いため、双方向のやりとりが必要であると発言した。加えて、会員全員に対してアンケートを実施することは難しいと考えるため、現場の声を代議員が吸い上げる必要があると発言した。会長 三橋武信氏は、組織率向上に向けて、代議員からも広く声がけ、意見の集約をお願いしたい、また、会費の値上げについては必要性を十分に検討すると発言した。

社員 柴崎元氏は、研修について、各領域のプロフェッショナルが講師となって、施設単位での研修会を開催してはどうか、各施設の研修を兼ねるため、施設が会費を負担してくれるのではないかと発言した。会長 三橋武信氏は、研修の一つの考え方として検討したいと発言した。

社員 佐藤登康氏は、単年度の収支が赤字の状態、事務所を設けて、事務員を配置するメリットは何なのかと質問した。会長 三橋武信氏は、会員数の増加に伴い、事務作業が煩雑になっており、事務局員である会員が本務外の時間で事務作業を行っているが、事務員を雇うことで、会員数や会員数増に見合った安定した事務作業を遂行でき、組織率の向上や事業の拡大を図ることができるかと回答した。

社員 小田桐早紀氏は、収入について、県学会の学会参加費で賄うことはできないのかと質問した。副会長・事務局長 平川氏は、学会運営について、本会の会費収入で賄うべきものと受益者負担の考え方に沿って賄うべきものに分けて考えるものであり、それに基づいた参加費の設定をしなければならず、学会参加費を上げることで収入を増やすことには慎重にならなければならないと回答した。

社員 中屋敷真貴子氏は、新人の入会手続きの援助も必要ではないかと発言した。副会長・事務局長 平川氏は、以前は、各施設に連絡し、得られた情報に基づいて、入会案内等を送付していたが、各施設からの情報が得られにくく、また、各施設への連絡が事務局員の本務時間内に行わなければならないため、昨年度から入会勧誘のお願いの文書を会員に送付しており、入会前に情報が得られない以上、事務局としての対応はここまでのため、一会員が、また、各施設単位で入会とその手続きを促してほしいと発言した。議長 原長也氏は、事務局に任せきり、各施設に任せきりではなく、相互に協力してほしいと発言した。副会長・事務局長 平川氏は、現在の事務局の業務は、長年にわたって効率化、外注化を図ってきたものの、本務の時間外である夜間に、長時間にわたる多くの、正確さが求められる業務があり、これ以上の業務の効率化を図ることは難しいため、事務局員の負担を勘案し、事務員の雇用、それに伴う事務所の設置は急務であると発言した。また、他県では、会員数が800名程度を超えると事務所を設置し事務員を配置していると発言した。社員 後藤彰節氏は、事務員を雇うことに賛成するが、会費値上げの理由を会員に周知することを十分に行ってほしいと発言した。

社員 後藤彰節氏は、協会員＝士会員とすることを本会としてはどのように考えているのかと質問した。副会長・事務局長 平川氏は、他県では協会員の方が各士会より多いが、青森県ではその逆であるため、協会員＝士会員となることにより、組織率が下がる可能性があるが、士会員が退会しないようにするためには、質の高い活動を継続することが重要あり、また、協会への入会は、本会も推進するものの、そのメリットの説明は協会が十分に行うものであると発言した。会長 三橋武信氏は、診療報酬等に提言できるのは職能団体であるOT協会であり、そのためには組織率が高いことが必要であるため、ぜひOT協会には入会してほしいと、また、そのことについて、代議員からも会員へ呼びかけてほしいと発言した。

議長は以上のことを議場に諮ったところ、満場一致をもってこれを承認した。

#### 第4号議案 次期学会長について

執行部は、次期学会長に生協さくら病院 佐々木良範 氏を推薦した。

議長は以上のことを議場に諮ったところ、満場一致をもってこれを承認した。

以上で本日の議案の審議を終了したので、議長は、午後2時55分閉会を宣した。  
上記の決議を明確にするため本議事録を作成し、議長および出席した理事は、次のとおり記名押印する。

2023年6月3日

一般社団法人青森県作業療法士会総会において

議長 原 長也 ㊟

会長 三橋 武信 ㊟

副会長 安原 清文 ㊟

副会長 平川 裕一 ㊟

副会長 大塚 基永 ㊟

理事 藤嶋 聖子 ㊟

理事 小枝 周平 ㊟

理事 笹原 秀平 ㊟

理事 算用子 暁美 ㊟

理事 小山内 啓 ㊟

理事 菩提寺 玲子 ㊟

理事 秋元 真樹子 ㊟

理事 慶長 孝太 ㊟

理事 佐々木 良範 ㊟

理事 新谷 亨 ㊟

理事 落合 利香 ㊟